

2012年度第9回執行理事会議事録

期 日：2013年3月9日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 伊藤（15時早退）内藤 星 松田 山本 山路（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：井龍 坂口 高木 中澤 西 平田 保柳 山口

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者10名，委任状8名，合計18名の出席。

*前回議事録の確認をし，承認した。

I 審議事項

1. 来年度の事業計画基本方針最終案の確定

中期ビジョンの検討を開始することを追加する。地質情報の共有化についてのコメントに振れる。

2. 地質学雑誌編集委員会規則の改正案の確定確認 理事会議案とする。

3. 論文賞の取り扱いについて

論文の定義を運営規則16条の2項に追加すること，これに伴い，2項（3）号のIA賞の文言から，「・・・（総説を含む）」を削除することとし，理事会に提案にする

4. 「(仮称) 地質地盤情報活用協議会」(全地連) の設立参加要請について

回答期限 3/21

地質学会として参画する。委員は応用地質部会長の小嶋理事に依頼した。

5. 125周年事業について，開催時期（年会との関係），事業規模，その他

・周年事業の基本資金として，現在引当金として留保されているかつての「総目録刊行引当金」(約260万)を「125周年事業準備金」として名目変更して使用できるようにすることを理事会に提案する。

・事業準備委員会を立ち上げる。事業内容としては，国際シンポジウムの企画する，地質の日に合わせて学会員の参加・一般へのアピールができるような行事を全支部で一斉に実施すること，フォトコンの写真集を作るなどが考えられる。素案を修正してこれらのことを理事会に提案する。

6. 総会議案について

・総会議案は，以下の項目とすることを理事会に提案する。

1. 2012年度事業報告， 2. 2012年度決算報告，
3. 選挙規則の改正， 4. 2013年度事業計画， 5. 2013年度予算案

・フォトコンの表彰式のために会場に作品を展示することを検討する。

7. 中期ビジョン改訂WG委員の選出：各部会よりの推

薦その他，現在までの推薦

棟上俊二（岩石：福岡教育大）川辺孝幸（環境地質：山形大）須藤 斎（古生物：名古屋大）藤原 治（第四紀：産総研）内野隆之（地域地質：産総研）柏木健司（応用地質：富山大）丹羽正和（構造地質：原子力開発機構）須藤 宏（坂口推薦：応用地質）推薦を元に決定するが，分野の偏り（民間が少ない），年齢構成等を考慮すべき。

常務と副常務（委員長）で相談する。

8. 理事会議案の確定

1) 事業計画基本方針最終案， 2) 決算予想案・予算案， 3) 各賞受賞者の選出， 4) 中期ビジョンの改定作業について， 5) 125周年事業について， 6) 論文賞の対象論文の範囲についての検討， 7) 地質学雑誌編集委員会規則の改正案， 8) 名誉会員のあり方の検討について＝シニア会員の問題など， 9) 総会議案の決定

上記のとおり承認した。

9. Offshore Technology Conference Asia 2014 : マレーシア クアラルンプール 3/25-28開催の後援依頼については，学会員の参加が見込めるような会議でもないことから見合わせることにした。

II 報告事項

(1) 全体的報告

1) 名誉会員推薦委員会からの報告

ウォリス理事から，現状報告があった。

2) 名誉会員WG報告

ウォリス理事から，理事会への報告原案が示された。

3) その他

・原発審査のピアレビューの座長を3/8につつがなく済ませたことが石渡会長から報告された。

・会員外の死去に伴う対応は原則として行わないことを確認した。

(2) 運営財政部会：総務委員会（西・山本）

1. 東レ科学振興会より平成25年度の東レ科学技術賞ならびに科学技術研究助成の募集案内→News, HP, geo-flashへの掲載。また，今年度受賞者，授賞式の案内（3/14）には欠席の返事をした。

2. 第10回学術振興会賞受賞候補者（45歳未満）の推薦について，受付4/15-17, 学会へ切3/31→News, geo-flash, HPに掲載

3. 消防庁消防技術政策室より，「消防防災科学技術研究推進制度」研究開発課題の公募案内→募集期間2/7-3/7, 消防庁の指定テーマによるもの→geo-flash, HPに掲載

4. 地球化学研究協会より学術賞「三宅賞」および「進歩賞」（奨励賞改め，1973年4月以降生まれの

方)の公募案内, 8/31〆切→News, geo-flash, HP
に掲載

5. 海洋研究開発機構「ちきゅう」10年計画国際ワークショップ(CHIKYU+10 International Workshop)
(4/21-23)の後援を承諾

<会員>

1. 今月の入会者(3名)
正(院割)会員:佐藤真一(2012年度入会希望)
植原和樹(2013年度から)北川祐介(入会年度確認中)
2. 今月の退会者(2名)
正会員(2名):金 容義, 鈴木稔弥
3. 今月の逝去者(2名)
正会員:遠藤秀正(2012年11月29日), 樽 良平
(2013年2月27日)
4. 2013年1月末日会員数
賛助:27 名誉:69 正会員:3979(正会員:3782,
正(院割)会員:186, 正(学部割)会員:11 合計
4079(昨年比-74)

<会計>

- ・3/22 会計委員会開催, 予算案作成予定
- (3) 広報部会: 広報委員会(内藤・松田)
- ・3/4 フォトコンテストの審査を行った。
応募総数205点
最優秀賞1件, 優秀賞3件・ジオパーク賞1件,
入選7件を選出
 - ・入賞写真の展示公開会場探索中。
 - ・「地質学者に聞いてみよう」3件の質問あり。
- (4) 学術研究部会: 行事委員会(星)
- ・仙台大会関係報告
 - ・一部トピックセッションのレギュラーセッション化, 既存レギュラーセッションの統合(学際的レギュラーセッションの新設)などの報告があり, 承認した。
 - ・レギュラーセッションでの招待講演を, ルールを決めた上で認めることとした。トピックセッションと同じルールを適用する。
 - ・レギュラーセッションの他学協会との共催を認めることとした。
 - ・新エネルギーや新資源に関する研究・教育・普及等を本学会も強化するために, 関係セッションにおける招待講演等を推進していく。
 - ・仙台大会の業務をアカデミックブレインズに委託し, 会場設置, 機器レンタル等の業者は地元仙台の業者を使ってもらおうこととした。機器設備等は予算活用と支出抑制のため, 見積り内容等の詳細検討中。とくにPC系の設備等は可能な範囲で簡素化を図る。
- (5) 学術研究部会: 国際交流委員会(井龍)
- ・タイ地質学会との学術交流協定を更新した。
 - ・ロンドン地質学会との学術交流協定について検討

中。

(6) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会(山路)

- 1) 編集状況報告(3月5日現在)。
 - ・2013年度投稿論文総数22編[論説7(和文7)・報告2(和文2)・口絵2(和文1, 英文1)・巡検案内書11] 査読中37編(巡検案内書を含む) 受理済み22編(うち通常号7 特集号15)
- 2) 掲載状況
 - ・119巻2月号: 構造地質学と応用地質学の接点(2010. 4. 19受付) 代表世話人: 竹下徹(印刷・発送済み)
 - ・119巻3月号: 論説4, 報告2 計64頁(予定)(校正中)
 - ・119巻4月号(予定): 「中国地方の中・下部新生界の研究—層序・年代・テクトニクス・古環境」(2012. 2. 27受付) 代表世話人: 澤田順弘(入稿準備中)
- 3) 編集委員会規則の改正案最終版策定

(7) 編集出版部会: Island Arc編集委員会(伊藤)

- ・編集状況ほか報告
 - IAの新名称についてEIC, EAB, AEによる第1回投票が行われ, トップ5を元に絞っていく予定。5月までに決着できればと考えている。

(8) 編集出版部会: 企画出版委員会(山口)

- 1) リーフレット関係
 - ・三浦半島: 2013年度中には完成させたいとのこと。地質図の原図作成を業者に依頼したいとのこと。とりあえず参考見積りを取ることを承諾した。
 - ・新企画: 青木ヶ原たんけんマップについて近日中に企画書が提出される予定。
- 2) 電子出版関係
 - 「白滝ジオパーク」および「地学を楽しく」は井龍理事の担当とし, 校閲等出版に向けての準備を急ぐこととした。概ねのスケジュールは, 4月中旬校閲(修正も含め)終了, 5月下旬の公開準備完了を予定している。公開手段についての検討は急ぎ必要。(Amazonなどを使うか独自か等)校閲は, 今回は緊急対応として執行理事会で分担して行うが, 今後は編集委員会を個別に作ることも必要。
- 3) 超地球史年表: 外部査読依頼中(2名)
岩波書店が出版に興味を示し, デザインを含めて, やってくれそう, 印刷サイズは(岩波が入ること)で再検討の必要があり。
折り畳んで書籍の体裁になる可能性もあり。
他の地質学会出版物のように学会監修なり編集なりの立場を明確にする必要がある。
- 4) フィールドジオロジー, 8巻および9巻の売れ行き情報
昨年9月に1500部印刷し, 現在8巻260部, 9巻60部の残で販売は好調とのこと。
再版の際にはとくに9巻の正誤表を反映させるよ

う確認する。

(9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)

- 1) 2013年度地質の日イベントについて(中澤理事)
 - ・街中ジオ散歩in Tokyo (応用地質学会との共催)
「石神井川がつくる地形の移り変わりと地質」
(5/12実施): 深田研に共催を申し入れ, 講師派遣
(池田 宏氏) の依頼をした.
 - ・支部の行事 (これまでにしているものについて)
北海道支部: 展示「豊平川と共に—その恵みと災
い—」(4/23-6/2 北大博物館), 近畿支部: 講演会
「大阪平野の地盤環境と地盤災害」(5/12実施) 西
日本支部: 展示, 体験コーナーなど「身近に知る
くまもとの大地」(5/11実施)
- 2) 2013年度春季地質調査の研修 (中澤理事)
産総研から共催の承諾をとった. HP掲載で広報開
始
開催日: 5月27日~31日まで
講師: 徳橋秀一・辻野 匠 (産総研)

(10) ジオパーク支援委員会 (高木)

- ・フォトコンテストでは, ジオパーク地域を対象と
した写真の応募が非常に増えたことから, 優秀賞
の枠を使って「ジオパーク賞」を設けることを提
案し, 選考委員会です承された. ジオパーク賞は,
人と地球 (ジオ) との関わりをテーマとした写真
を優先したいと考え, 今回の選考では趣旨にかな
った写真が選ばれた.
- (11) 震災復興事業プラン検討WG** (高木・西・藤本・
斎藤)
- ・昨年度事業のうち, 報告が出ていないものについ
て催促, 今年度1件についても実施状況の確認中.

(12) その他

- ・原発審査のピアレビューの座長を3/8につつがなく
済ませたことが石渡会長から報告された.
- ・会員外の死去に伴う対応は原則として行わないこ
とを確認した.

以上

2013年3月21日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞